

穂の国 34通信

お客様の夢を希望へ、 希望を製品へ、そして進化へ

あいさつ
会社の歳時記
技術の時間
ちょっとコーヒータイム

Vol.14

(有)今泉大伸



〒441-3131
愛知県豊橋市大岩町字小山塚62-28
:0532-41-8282
FAX:0532-41-8297
E-mail info@imaizumidaishin.co.jp
http://www.imaizumidaishin.co.jp

このたびの東北地方太平洋沖地震災害により、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様、そのご家族の方々に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。

食欲の秋、勉学の秋、いろいろありますが、皆様にとってはどのような秋でしたか？

あいさつ



それにしても秋って本当に短いですよ。そして、良い時期でもありますよね！！

9月にはまだ残暑が残り、10月の移りまでの1～2ヶ月、あっという間ですもの。

そしてもう11月。気の早いところからはクリスマスへ準備の情報まで出てきています。

夏は暑さで体が本当にまいって疲れてしまいました。

一番体が動くのは秋、春、冬、夏の順ではないでしょうか？ 今回のニュースレターは当社の都合にて、一ヶ月遅れとなっております。

どうやら景気の方は、どこに行っても上向きとの声が自分の所へも聞こえてきており、気持ちが元気になります。

皆様のところへはどうでしょうか。さて、ニュースレターも今年は今回を入れてあと2回です。

今回のニュースレターをお楽しみいただければ幸いです。



会社の歳時記



10月は比較的、暇だった我社も11月あたりより忙しくなりました。

商売って不思議なものですね！

暇な時もあり、本当に忙しくて仕方がない時もあり...、それをどうにか平均化していくのが経営者の手腕なのでしょうね。

そしてイライラしてしまったり、時に感謝を忘れてしまうのも、このような時期ではないでしょうか？

今年もようやく会社としての一年が終わろうとしています。

一年を通して思い起こすと、怖くて寝られない時もありました。

しかし、良くなっているという自覚もあり、なんとかなって行く気がします。

それと世代交代の波が確実に迫ってきているな、とも思いました。

今年一年を振り返った時、確実に変化しているのだなーと感じました。

また、今までは小さな変化であったものが、今年にかぎり、とても大きな変化になったような気がします。

今日の会社の歳時記は、決算期を向えた当社の心境をお伝えいたしました。



前回までに3D CADについてお伝え致しました。

ここで一つ気を付けていただきたいことがあります。

大企業や設計事務所はCADだけをやっていてもお金を稼ぐことができます。

それは自分以外が稼いでくれる、またそれ自体が仕事になるからです。

でも実際は営業したり現場を行ったり、これからの時代にはCADだけでなく、データ入力や画像などのマニュアル作りなど、多岐にわたります。

しかしCADができるようになると、新人はそこまでが自分の仕事になってしまいがちなのです。ですから全体を見た仕事の仕方は必要ですよ！

そんなわけで今回は、加工について書きたいと思います。

新人に図面を書かせると『この加工はどのようにやるんだ！？』という事になる時があります。

また加工交差・図面記号なども適当に付けてしまう所があったりします。

あとでチェックすると、どう加工するんだ？って事になるのです。



だから『加工をさせる！！』。それはコンピューターで仕事をしているとう感覚を払拭させること。

また加工によって、生の感覚でどの部品がどこに付くか考えること！！

また図面だけを書いていると、自分で考えることがなくなってしまうことです。人に頼ってしまっているのです。

だから、加工の現場をやらせるのです。

その際に必要な本は、大河出版から出ている『切削工具のカンドコロ』という本です。

この本によって加工する道具の使い方が解ります。

まず、図面は自分の責任で行っているんだ！ということ。

図面を間違えれば皆が困るということを知って頂くことが大切です。



切削工具のカンドコロ
技能ボックス (2)
技能士の友編集部
大河出版

ちょっと コーヒータイム

本日は、ちょっと遑って豊橋祭りのお話しをしたいと思います。

10/23日に、豊橋造形パラダイスに行っただけです。

市内中の小中学校の美術の作品がこれに向けて作られ、そして公園内に一斉に展示されて、それはもう壮観です。

本当にきれいでした。

その中で私が目に惹いたのは、二川中学校による家紋を使ったのぼりの旗でした。

なぜかといいますと、実は家紋を見るのが好きなのです。とても不思議なんです。

なぜ、あのようなシンプルで記号化されまとまった中に綺麗な模様が作れるのか？見れば見るほど不思議です。

家紋について、あるマンガ(こち亀だったかな?)家紋のことについて書いてあったことを思い出しました。

なんでも昔は、家紋を自分達で作ることができたそうなんです。

会社のマークもそれと同じですね。

有名なところでは三菱さんのマークなんですが、あのマークは旧三菱財閥創業家・岩崎家の家紋「三階菱」と、土佐の藩主・山内家の家紋「三つ柏」、そしてそれらを合わせて三菱のマーク、スリーダイヤとしたそうです。

マークから、三菱の岩崎弥太郎が、どれだけ山内家によって盛り立てられたかが窺えますね。

もちろん、それだけのすごい実力があってのことです。

そんなこんなで家紋について書きました。皆様のお家の家紋はどのようなものですか？

本日のちょっとコーヒータイムは、家紋について、そして豊橋造形パラダイスでの未来の大人たちのセンスに感動する私のお話でした。

